

# GENERATION Z

## <超新人類>

ジェイソン・ゴールドマン・ペトリ

世界中で、世の大人たちは、超新人類の子どもたちに社会は終りを迎えてしまうのではと嘆いています。

彼らは、携帯電話を片時も離さない。  
彼らは、我慢ができず、長期的展望を持たない。  
彼らは、基本的な人との付き合いができない。

…等々、これらはほんの一部ですが、次世代の子供達に関するコメントがたくさん聞かれます。世代それぞれには特徴があり、それぞれに対応が難しいものです。毎日子供たちの指導に関わっている人たちからは、一つくらいはポジティブな意見があっても良さそうなものですが、ネガティブな意見しか聞こえてきません。そこで私は教育者の一人として、この素晴らしい子どもたちの良いところを見出すようにして、こういった方々に彼らの世代との関わり方について参考となるようなことをご提案できればと思います。

### 携帯は友達、敵視しないように！

この世代の子供達をネガティブに見る場合、彼らは携帯を片時も離さないという意見があります。携帯という言葉は、注意力散漫、即物主義(何でもすぐに欲しがる)、コーチの目を見ずに携帯の画面を見るといった行動と同義語になってしまっています。(彼らのこういった行動は、私の大嫌いな事例の一つです。親御さんにお願いです。誰かが話しているときには、その人に目を向けるということをご指導ください。)

しかし、画面の奥に何があるのかが理解できれば、子供たちが経験している世界をあなたも経験ができます。携帯は彼らの社交の場であり、世界への入口であり、世界中の情報を即座に手に入れることができます。コーチの皆さんも、親の皆さんも、彼らがどのように携帯を使っているのかをそばで見たことがありますか？どんなアプリを使い、どのように文字を入力し、どんなサイトを見ていて、彼らがどんなアイデアに次々に触れているかを知ることは、コーチにとってとてつもなく価値のあることだと思います。

まず最も基本的な利点から考えてみましょう・・・携帯はあなたと生徒がいつでもつながる機会を与えてくれます。

例えば、ある試合の素晴らしいプレーを見ていて、「ああ、このことこそ彼らに今日教えたかったことだ。皆、見ていただろうか？」と思ったとします。そんな場合は、YouTubeの画像を彼らに送って、「皆、これを見てごらん。素晴らしいプレーだろう？これが、皆が昨日練習していたことなんだよ。」と書き添えれば済むのです。

いろいろな記事を読んで、「ああ、このことを彼らに知っていて欲しい。(食事の摂り方や、エクササイズや、時間の使い方、等など)」と思った場合は、そのリンクを送って「この記事は、君の参考になるから読んでごらん。」というだけです。

たとえ彼らがそれを読まなかったとしても、コーチがどれだけ自分のことを気にかけてくれているかという気持ちは伝わるでしょう。

我々は皆、携帯を持っていますね。皆さんは、レッスンの様子や、生徒のプレーを撮ったことがありますか？彼らもそれを見たいと思っていますと思いませんか？彼らのストロークのビデオを送って、「この素晴らしいショットを見てごらん。友達をタグしてみたらどうかな？」というのです。

そうすれば、彼らは喜んで友だちに見せて、あなたがそのパイプ役となるのです。こうすれば、彼らはスキルに自信を持ち、もっと向上心を持ち、あなたを信頼するようになるでしょう。

## オタクの逆襲

今まで以上に、知識が豊かであることは、社会に受け入れられ、「カッコイイ！」とも思われています。昔は、運動選手は「運動バカ」と言われ、難しい話にはついていけないと言われていました。しかし、今では自分の7歳の子供が、コーチから言われてことについて、そのことが正しいかどうかを聞いてきます。私は決まって「もちろんだよ。でも、オンラインで調べてみようか？」と答えます。（私は心血を注いでもう一人のコーチたるべく努力しています。コーチの皆さん、私は「あのような親」ではありませんよ！）

コーチとしても、こういった方法はいろいろな点で役に立つと思います。あなたは、自分の専門外のことにしてもエキスパートになれるのです。というのは、生徒が、食事の摂り方やエクササイズやストレスへの対処などに関して知りたいとなったら、ネットで調べて、それらの情報を生徒に教えればよいのです。今まで、外からの情報をどう活用したらよいかに馴染んでいなかっただけなのです。言うまでもなく、こういったことができれば、生徒からの信頼感は増してゆくでしょう。「この場面ではクロスコートに打てばよかったと思うけれど、これは自分だけの意見でなく、ネット上で他の15人ものコーチ達も同意見なんだよ。それから、ここを見ると、君の好きなプレーヤーが、同じようにしてポイントを取っていることがわかるよ。」と言えば、生徒はあなたのことを尊敬の眼差しで見ることでしょう。

しかし、気をつけないければならないこともあります。書かれている情報を鵜呑みにして、例えば「水を飲むと痙攣を起こすから、飲まない方が良い。」と短絡的に言わないことです。実際には、水を飲むことは生命維持に必要なことですが、水だけを飲んでミネラル分を摂らないと痙攣を起こしやすくなるということで、水自体には問題がないのです。こういった「悪い言い伝え」は、自分も昔言われていました。そして、わずか4年前ですが、新米のフットボールコーチが同じことを言っていたのを覚えています。

あなたが最新情報に乗り遅れたり、正確であるかどうかにかかわらず、生徒は自分で情報を探しに行き、あなたと違う意見を持つ専門家の情報を得てしまうかもしれません。そうなったらあなたの影響力はなくなり、生徒からの信頼を失うことになるでしょう。ですから、コーチとしては、準備を怠らず、より多くの知識を持ち、生徒たちの生活により関わりを持つことが求められます。生徒たちがより知識豊かであれば、我々にはもっと指導が可能になり、彼らは進んで学習をしようとするでしょう。彼らが目の前にいなくても、我々は彼らのコーチたり得るのです。以前のコーチができなかったやり方で。

## すぐに感謝の気持ちを表すことが、すぐに信頼を得る

今の子供達は、すぐに満足感を得たいという傾向にあります。技術の進歩によって様々なことが可能になっている今、この世代の子達は、何でも欲しがり、すぐ手に入ることに満足するのです。テニスはモノにするには長い時間を要するものの一つであり、10～15年以上かかっても出口が見えないこともあります。技術の進歩のお陰で、今までになく早く「信頼」を得ることができるようになりました。子供たちがアプリを気に入り使いこなすのにどのくらい時間がかかると思いますか？彼らのテニスに関して、あなたも同様なことができるはずですよ。

私はこのことを「即座の勝利」と呼びます。昔は、若いコーチを信用せず、何かを変えることに抵抗感がある大人に教える時に考えなければならなかったことです。しかし、今では一番小さな子供にも使わなければなりません。この「即座の勝利」とは、生徒に直ぐに結果を出させるやり方です。一般的に、何かを変えようとする時には、一時的にパフォーマンスレベルが低下しますが（変化が自分のものになるまでには、いちいち考えなければならぬからです）、早く結果を出せる方法があります。

例1: クロスコートを狙う：

こうすることで、コート中央部のネットが一番低くて長いところを通っての打球となります。ベースラインとシングルサイドラインで作る三角形の斜辺に当たります。多くの場合、クロスコートに打つことは自然で、上手く角度をつければ相手をより沢山走らせることができます。

例2: 打点を見ること：

こうすることで、ボールを芯で捉えることにつながります。テニスには、狙っていく場所とラケットのスイートエリアという2つのターゲットがあります。打球に至るまでのことが全て完璧だったとしても、スイートエリアを外しては、狙うところに打てません。

皆さんは、こういった「即座の勝利」を用いることで、生徒の信頼を得ることになり、この先に彼らに起こるであろうもっと難しい変化が必要なきにも、あなたの指導を受け入れてくれるようになるでしょう。相続力を働かせて、あなたの指導スタイルと生徒のレベルアップのためになる「即座の勝利」を考えてみましょう。あなたを信頼する生徒の取り組み方に感激するでしょう。

### 「いいね」と「タグ」と「シェア」の活用

現代社会にはそれなりの問題が生じますが、それはいずれも解決可能なものです。我々コーチや親たちが新しい世代の子供たちと上手く関わっていく上で、これらが決して全てではありません。でも、これが私がネガティブなことをポジティブに変えている考え方なのです。今の子供達が怠惰であると決めつけず、我々自身がいかにか彼らにやる気を起こさせるかという、新たな道を考えなければならないのです。今の子供達は社会性に欠けているのではなく、我々に、もはや「面と向かう」対話法ではなく、「携帯と携帯」での対話法という新しい意思疎通の手段を学ぶ取り組みが求められているのです。最後になりますが、この世代の子供達は、満足を得られるまで長いこと待つことができないかもしれません。そこで、我々には、時間をかければ大きな成果が得られるということを彼らが理解できるような方策を考えることが求められます。我々が彼らのことを理解して接し、注意をこちらに向けさせることが肝要です。彼らの周囲には数多くの簡単に結果が得られる物事が溢れているのですから。

### まとめ

1. 彼らがどのような携帯の使い方をしているのかを観察し、同じアプリをダウンロードして、レッスン以外の時間で彼らとコミュニケーションが取れるようにしましょう。
2. 携帯やソーシャルメディアを活用し、あなたのレッスンや生徒たちとのつながりを活性化しましょう。
3. あなたが伝えたいことについてより訴求力を高めるために、インターネットの力を活用しましょう。
4. 生徒たちは、あなたが言っていることに自信を持っているかどうかを見抜きます。ですから、新しい情報を取り入れ、知識量を増やしましょう。あるいは、少なくとも有用な記事やビデオを探しておきましょう。
5. ある考え方を突き詰めることを恐れないことです。今の子供達は、昔の世代と違って情報に対する対応力に優れています。
6. テニスは難しいスポーツです。ですから、いろいろなことを上手く伝えられるように、彼らがテニスを始めた早いうちに、彼らからの信頼を受けるようにすることが大切です。
7. 生徒があなたを信頼すれば、彼らは努力を惜しまず、テニスを身につける長い道のりに向かうようになるでしょう。

【筆者紹介】 Jason Goldman-Petri: IMGアカデミーで指導をしており、前職は、テキサス州ヒューストン北部のApril Sound Country Clubのテニスとフィットネスのディレクターを務める。それ以前には、メリーランド州バルティモアにあるStevenson Universityのヘッドコーチをはじめ、多くの場所での指導経験を持つ。USTA High Performance Coach Programを修了し、USPTAとPTRの認定を受けている指導者。また、HEADのアドバイザースタッフのひとりでもある。

【翻訳・監修】 鈴木真一